

連続繊維シートの押抜き試験



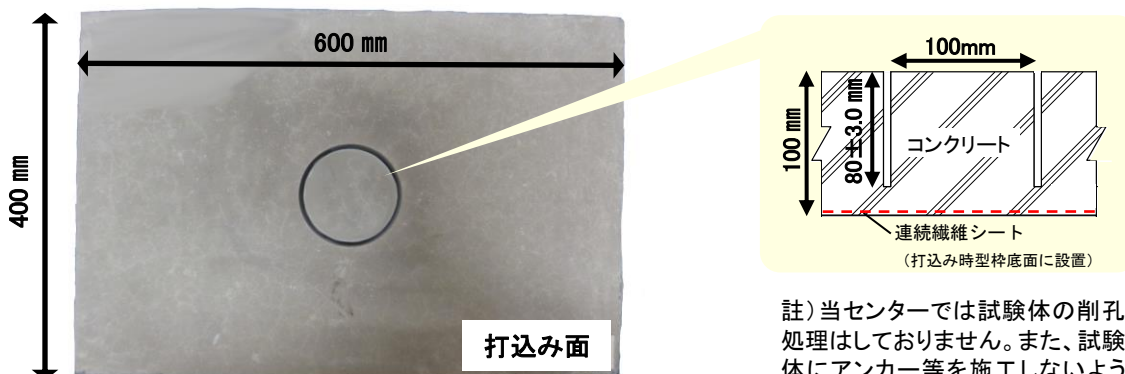
一般財団法人

日本建築総合試験所

連続繊維シートを対象とし、コンクリート片の剥落抵抗性を試験します。

試験体

試験体は、NEXCO 試験法 424 の図にしたがって、実際の現場の施工仕様に基づき作製します。
連続繊維シート埋込み面の反対側の中央部において、直径約 100 mm、深さ 80 ± 3.0 mm の範囲を削孔します。
なお、当センターでは繊維補強コンクリートを用いた場合の試験には対応できません。



註) 当センターでは試験体の削孔処理はしておりません。また、試験体にアンカー等を施工しないようお願いします。

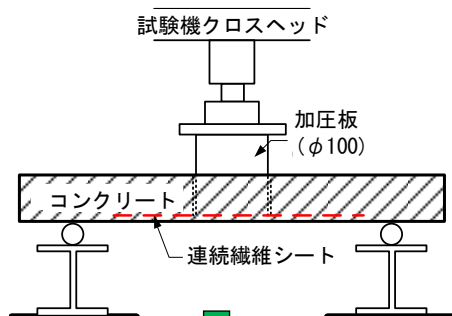
試験方法

試験体の養生

試験前に、温度 $23 \pm 2^\circ\text{C}$ の恒温室内で 48 時間以上静置します。
(温度 $-10 \pm 2^\circ\text{C}$ および $50 \pm 2^\circ\text{C}$ には対応できません。)

試験の方法

削孔を行った面を上にして載荷を開始します。変位量が 10 mm に到達した際に載荷を一時中断し、剥離範囲をマーキングします。これを変位量 10 mm ごとに繰り返し、耐荷力があると判断できる場合は最大で変位量が 50 mm に到達するまで載荷を行います。



10 mm 下面の様子



20 mm



30 mm



試験結果

試験結果の示し方は、わかりやすい試験シリーズの表面被覆材の押抜き試験(材 B-01)と同様です。

性能の水準を定めている例として、NEXCO の試験規格では、変位量が 10 mm 以上の範囲において、最大荷重の平均が「1.5 kN 以上」となるよう規定しています。

【関連規格】 NEXCO 試験方法 第 4 編 構造関係試験方法 試験法 424 はく落防止の押抜き試験方法

土木学会 コンクリート片のはく落防止に適用する表面被覆材の押抜き試験方法(案) (JSCE-K 533)